



千葉科学大学 (千葉県銚子市)



2019年 日本語・日本文化研修留学生コース

■ 大学紹介

① 大学の特色および概要

2004年4月 開学 (薬学部・危機管理学部)
 2010年4月 留学生別科を新設
 2014年4月 看護学部の増設(3学部体制)

加計グループの大学です。法人本部は岡山市にあります。姉妹校が日本全国にあります。

◆ 建学の理念

ひとりひとりの若人が
 持つ能力を 最大限に引き出し
 技術者として 社会人として
 社会に貢献できる 人材を養成する

◆ 教育目標

健康で安全・安心な
 社会の構築に寄与できる人材の養成



② 国際交流の実績 (2018年) 人数 (受入↓/派遣↑)

米国	フィンドリー大学 (4/1)	ライト州立大学 (3/3)
ブラジル	パラナ連邦大学 (5/0)	パラナカトリカ大学 (3/0)

③ 受入れ留学生数

年度	留学生数	(別科生数)	[日研生]	備考
2018	118	(21)	[1]	2018/10/01
2017	100	(26)	[1]	
2016	98	(20)	[1]	
2015	96	(23)	[0]	
2014	110	(27)	[2]	日研生制度

※学生の出身国(2018年度秋学期) 中国・スリランカ・ベトナム・韓国・台湾・アメリカ・ネパール

④ 地域の特徴

銚子市は、東京駅から約100km、成田空港から約50km、東側にある。東と南は太平洋に面し、北は利根川が流れている。気候は夏は涼しく冬は暖かい。霧が多く湿度は高い。風が強く風力発電の風車が林立している。銚子港の水揚げは全国一、食糧自給率は200%を超え、農水産業を中心に技能実習生も多く、外国人の割合は住民の約5%を占める。

水郷筑波国定公園(1959)、銚子ジオパーク(2012)、国指定名勝(2015)、日本遺産(江戸を感じる町なみ)(2016) に選ばれた。屏風ヶ浦の景観、犬吠埼温泉など、魅力ある観光地である。



■ コースの概要

① 研修目的

日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行うもの。

② コースの特色

現代日本で暮らす生活者としての日本語力をきたえる。日本文化を楽しむ。

《教育理念》一人ひとりの留学生を持つ日本語力を最大限に育むことで、学生として社会人として、一人ひとりの "Dream-Come-True" を支える。

《多様な教育活動》

- a) まちごとキャンパス。銚子市国際交流協会の活動会員として、日本文化や日本事情を学ぶチャンスがたくさんある。
- b) 生活の安全。東日本大震災を教訓に防災教育。AEDの講習。交通マナー講習
- c) 日本語スピーチ大会への出場をサポート。日本語弁論大会など出場・受賞歴は多数。
- d) JLPT (日本語能力試験) 本学が試験会場 Jtest (実用日本語検定) の受検指導が充実。

③ 受入定員

定員7名 (大使館推薦5名、大学推薦2名)



東覚寺(とうかくじ)で座禅体験

- ④ 受講希望者の資格、条件等
「日本語レベル」日本語能力試験
漢字圏：N4以上
非漢字圏：N5以上

※日本文化や日本事情に関心があり、日本語学習に意欲があること。

◆スタート

- 《聞》・約束する時間や場所を聞き取り、その内容を守ることができる。
《話》・自分が自己紹介した内容に対する質問に回答ができる。
《読》・予定表(日時・曜日・場所)を読み取り行動ができる。
《書》・ひらがな・カタカナが自由に書き、所定用紙に氏名が記入ができる。

- ⑤ 達成目標(ゴール)
「日本語レベル」日本語能力試験
漢字圏：N2以上(JLPT)
非漢字圏：N3以上(JLPT)

※修了試験に合格すること。
《聞》・標準的な話し方のTVや映画がだいたい理解できる。
《話》・学業やアルバイトの面接で、進路希望が話せ、自己PRができる。
《読》・関心のある記事(雑誌・新聞・ネット情報)を読むことができる。
《書》・感謝やお詫びを伝える手紙やメールを書くことができる。

- ⑥ 研修期間 #渡日9月下旬→帰国8月下旬
2019年10月1日～2020年8月31日
#入学式・修了式は行わないが、
歓迎会・送別会を行う。



⑦ 研修科目の概要・特色

	科目	領域	特記事項
1)必須科目 通常科目 840時間	日本語Ⅰ	文型文法	3)修了研究の内容 #研究過程:小中高からシニア生涯大学まで、地元国際交流協会員として日本文化・事情を学ぶ。 #成果発表:日本語スピーチが口頭発表の場。報告書は別科文集に直筆原稿を掲載。 4)日本人学生との共修の機会 #学部「プロジェクト外学習」と連携。多文化を「楽しむ」日本語楽サロNPJの学生が授業に参加(2018年度以降開講)
	日本語Ⅱ	聴解	
	日本語Ⅲ	会話	
	日本語Ⅳ	漢字語彙	
	日本語Ⅴ	作文	
	日本語Ⅵ	読解	
2)見学・地域交流等の参加型科目 90時間	総合学習	学外活動と、事前・事後指導	5)その他の講義、選択科目等 120時間
	情報科学	数理的表現の分野	
5)その他の講義、選択科目等 120時間	日本語Ⅶ	資格試験対策	進路指導・個人面談など
	HR		



⑧ 年間行事(9月～8月)

月	学校関係	市民交流
9	秋入学(渡日)	歓迎会 9月下旬
10	研修旅行(宿泊)	座禅体験
11	Jtest(準会場)	高校生交流会
12	JLPT試験	スピーチ/忘年会
1	定期試験	書き初め/初詣
2	文集作成 進路	書き初め作品展
3	春入学修了	日本文化体験
4	春入学	お花見
5	津波避難訓練	小中学校交流会
6	JLPT試験対策	茶道体験
7	日本語能力試験	七夕・プラネタリウム
8	修了試験(帰国)	送別会 8月下旬



救急救命 AEDの練習

花嫁衣裳の色打掛



スピーチコンテスト



⑨ 指導体制 (2018年10月1日現在)

●日本語教育 《担当スタッフ》

- * 専任
 - 船倉武夫 (留学生別科長)
 - 高橋道恵 (専任講師)
 - * 非常勤講師
 - 鍋木 正 小濱知子 滝口晶子 神永由紀子
 - 河原喜久恵 奥田光代 床枝書玲 (中国出身)
- ※ 日本語教育指導講習760時間修了者
- 《授業スタイル》
- * 能力別クラス (入門/初中級/中上級)
 - * チーム・ティーチング
 - * ホームルームや教室外活動は合同

●学生生活 《サポートスタッフ》

国際交流室

室長 ビクター・ヘイゼン(英語)
張 秋月(中国語)
小川 友和(日本語)

⑩ コースの修了要件

- 在籍期間 12ヶ月以上
- 出席率 80%以上
- 修得単位数 40単位以上
- JLPT N3以上 Jtest 準D級以上
- 修了試験の合格
- 約束を守る



■宿 舎

- 宿舎 銚子駅から徒歩10分 大学までバスあり
3LDK原則として、3人でルームシェア
費用 #個別事情により相談にのる。
家賃総額 30万円(原則として一括前納)
雑費: ガス・鍵の保証金(退寮に返金)
保険: 約3万円 (火事・盗難に対応)
学生教育研究災害傷害保険は大学負担
- 備品
冷蔵庫、洗濯機、机、椅子、ベッド



晴の日は自転車通学
雨の日はバスで通学



■修了生へのフォローアップ

- ・ 別科文集(日研生成果発表)等を帰国後に送付する。
- ・ 一人ひとりの適性に応じ、進路指導を行う。
- ・ 本学(大学院等)へ進学した場合、入学金免除
- ・ 7パート連帯保証人(機関保証)制度
- ・ 国際交流室・海外支局長を通じてサポートする。

母国の文字で
寄せ書き

■問合せ先

千葉科学大学
住所 〒288-0025
千葉県銚子市潮見町3番地

●入試広報室
TEL +81-(0)479-30-4545
FAX +81-(0)479-30-4546
e-mail koho@cis.ac.jp
http://www.cis.ac.jp/examinee/

●国際交流室
TEL +81-(0)479-30-4649
FAX +81-(0)479-30-4650
e-mail intl@ml.cis.ac.jp
http://www.cis.ac.jp/~kouryu/

●留学生別科 (日研生)
TEL +08-(0)479-30-4649
FAX +08-(0)479-30-4650
e-mail bekka@ml.cis.ac.jp
http://www.cis.ac.jp/infomation/bekka/

●海外支局長がいる国

